

# 9月くるみぐみだより

担当：村本 美穂

まだ少し暑い日もありますが、日ざしも柔らかくなり、外に出ると気持ちのいい風と空気が優しく全身を包んでくれる秋・・・木の葉も徐々に茶色や赤、黄色に色づき、春とは違うさわやかさが少しずつ感じられるようになりました。過ごしやすい時期なので、室内の活動だけでなく、戸外へも出かけて色々な経験が出来るようにしていきたいと思えます。

## 9月の行事

- 3日（火）交通訓練
- 17日（火）火災訓練
- 18日（水）お楽しみ会
- 19日（木）お月見会（クッキング）
- 26日（木）人形劇「アラジンと魔法のランプ」

## ●今月の歌

とんぼのめがね こおろぎ 秋の空 どんぐり まつぼっくり

## ●今月のわらべうた

ちょちょちあわわ いっぽんばし こりゃどこの  
せんせがのんの メンメンスー おつきさまえらいの

## ●今月の絵本

おいしいなうれしいな ばいばいまたね おつきさまこんばんは あそびましょ

## ◇運動 ～夏 水あそび満開～

今年の夏は、水の中でもいろんな姿勢で遊び、水と仲良しになることを目標に水遊びを楽しんできました。手作りおもちゃ（ビニール金魚・ペットボトルのシャワー）を使って、水の中で自由に身体を動かしたり、腹這いになったり・・・と、水と仲良しになれた子ども達です。

■りん君…顔に少し水がかかっても自分で顔を拭き泣かなくなりました。また、大きいプールに入ると、お兄さんお姉さんの真似をして、ハイハイになって動いたり、顔付けをまねしようとしたりもしていました。



■かける君…顔にかかっても泣かなくなりました。シャワーも平気になり、ホースから出てくる水は大好きで、出てくる水を手で触ったり顔にかかると楽しんでいました。水あそびが大好きになりました。

■ななみさん…手で水面を叩いて遊んだり、顔にかかっても泣かずに、体全部で水の感触を楽しんでいました。ペットボトルのシャワーに興味を示して、流れてくる水を手で触っては不思議そうにしていました。



■なのさん…流れてくる水に興味を示し手を伸ばして触ってみたりしながら少しずつ慣れていきました。顔にかかっても泣くこともなく、大きいプールにも挑戦して、泣かずに遊べるようになりました。

■れなさん…沐浴からプールにも挑戦しました。プールにも少しずつ慣れ、一人で座っておもちゃに手を伸ばしたり、水しぶきが顔にかかってもへっちゃらです。少し冷たい水にも泣かずに入れるようになりました。



## ◇集団

コーナーではるさんに赤ちゃん体操をしていると、「先生、なにしてるんだ」というように、一人また一人と集まって体操の様子をじっと見つめています。体操が終わって、腹ばいをしていると目の前におもちゃはあるのですが、柵の向こう側に立っているお友だちが気になるようです。ぐっと、顔を持ち上げてお友だちを見ていました。「こはるちゃん」と呼びかけると、ほかの子も「ーん」「おっ！」と、呼びかけるように声を出したり、こはるさんにもっこり笑顔を見せてくれました。月齢差があるくるみさんですが、だからこそあそびのなかでいろいろな相乗効果をうけることもできるクラスです。



## ◇絵本

絵本「きんぎょがにげた」を読んで、絵本と同じように手作り金魚を大きいプールに逃がしたり、タライの中に逃がしたりしながら、一緒に追いかけてたりしました。そのあとは、金魚と一緒にプールに入り、水に浮かぶ真っ赤な金魚を嬉しそうに手でつかみ、握りつぶしたり、投げてみたりしながらあそんでいました。絵本の時間にこの絵本を選ぶと、嬉しそうに指さして集まってきたり大好きな絵本の一つになってくれると嬉しいです。

## ◇手指探索

片栗粉あそびをしました。大きなタライに片栗粉を入れて、水を加えると、掴めそうで掴めない、何とも不思議なトロ～リトロとした物体に変身し、子どもたちの遊び心を魅了します。早速、タライに手を入れて感触



遊びを楽しみました。手をグッパグッパと動かしたり、ベチャベチャと音を立てて叩いたり、感触を十分味わいながら、遊ぶことが出来ました。

## ◇造形

ペットボトルのキャップを使ってスタンプを作り、スタンプ遊びをしました。始めは手を添えていたのですが、紙に色がつくのが楽しかったり、自分でやりたい気持ちもあるようで、手を振り払って何度も何度も押して遊んでいました。出来上がった魚を壁面に飾り「ほら、みんなでトントンしたおさかなさん、ここにいるよ」と教えると、何度も指さして見ていた子ども達です。

## ●描画

「おえかきしようか～」と、ペンと紙を机に準備していると、ニコニコしながらその様子を見ています。椅子に座ると、「あっ！あっ！」とペンを指さして早くちょうだいと言わんばかりです。ペンを渡すと、トントンと、力強く打ち付けていました。トントンとするたびに保育士を見てはにっこり。楽しさが表情にも動きにも表れていたかける君でした。



## ●言語・認識

赤ちゃんが見つめる者の中で、最も好むものが人の目だと思えます。見つめ合うことで相手の心を感じ取り、互いにかかわり合っている喜びを確認します。赤ちゃんは、言葉のない、心のやり取りを通じ、人と人との関わりがありようをまず獲得していきます。やがて、次の通い合える手立てを習得していきます。



子ども達に、指さしが多く見られるようになりました。指さしは、子ども自らが発見し、感動したことを大人に伝えようとする“心の言葉”です。指さされたモノやその意味を分かり合うこと、その思いを「わんわんね」「あれは、ぶーぶ」と言葉にしていくことは、子どもと大人が、聞く＝話すという対話の基礎を体験しています。このような積み重ねにより、物と音声との結びつきが育っていきと考えられています。一方的な声掛けではなく、目と目を合わせてお互いのやり取りを楽しみながら働きかけたいと思います。

## ◇生活 ●食事

命の日の集いでは、料理される前の魚や野菜に触れ、命の大切さを体感しました。大きな魚の姿に少し驚きながらも手を伸ばし、触っていた子ども達でした。ぶどうさんの畑に





行って、野菜の収穫も体験しました。見学の予定だったのですが、畑に着きどんぐりさんやあんずさんが畑にはいいっているのを見て、行きたくなったようです。畑の中でミニトマトを収穫し思わずその場でパク。何とも言えない表情でおいしそうにほおぼっていました。普段は調理されたものが食卓に出てきますが、自分たちが食べているものは何かを知るとい意味でも、いい体験が出来たのではないかと思います。

みんなで昼食が食べられるようになりました。りん君、かける君は、保育士が手を添えてスプーンで食べています。ななみさんやなのさんもスプーンを持っていますが、まだ手づかみも多い時期です。自分で食べたいという気持ちを大事にしています。れなさんはいろいろな味や触感にも慣れてきています。おやつ時間は、手に持ちやすいものは自分で持ち口へ運んでいます。



なんとといっても、みんなで顔を見合わせて食べることで食事の時間を楽しみ、お友だちの姿を見て、食べてみようとしたり、スプーンへ興味をもって同じように使ってみたりしている子どもたちです。

### ●排泄

オマルでの排泄が、習慣となっています。排便のタイミングも合うようになり、失敗も少なくなってきました。 出た後の、オマルを見せ、「でたねえ」と褒めると、笑顔を見せています。また、おしっこが出た後に自ら立ち上がり「でった」とうれしそうに手をたたき報告してくれます。れなさんも、オマルデビューをしました。



### ～布おむつ(パンツ)と紙おむつ～

濡れたら替えるということから、交換が多すぎると感じたり、オムツを洗ったり干したりするのは、少しわずらわしいかもしれませんが、そのわずらわしさを味わいつつ母親意識が育っていくことを大切にしています。

布おむつか紙おむつか？ではなく、「使い方」を考えていきたいですね。そこで「使い方」のポイントを整理してみました。

- ① 紙おむつでも、子どもがむずがったり、何らかの表情でおしっこが出たことを訴えたら取り替えてあげる。
- ② 両方を使い分ける→夜間や外出時は紙おむつを使用する。
- ③ 紙おむつのデメリットを知っておく→尿や便のようすを把握できない。排尿間隔などを観察して、健康チェックすることが大切。
- ④ おむつ交換は親子の触れ合いのチャンス。スキンシップや赤ちゃん体操をして喜ばせてほしい。

便利さに頼るだけでなく、上手に使い分けていきたいですね。

## 平成 25 年度 くるみ組 9月の目標

- ・体をしっかり使って遊ぶ
- ・行動意欲を広げていく
- ・戸外に出て自然に触れて遊ぶ

領域	1歳～	8ヶ月～	5か月～
<b>食事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを手に持たせ、道具の認識を促していく</li> <li>・自分で食べたい気持ちを大切に受けとめ、様子を見て介助し、充分たべられるようにしていく（子どもが意欲的に食べられるようスプーンは2本用意する）</li> <li>・コップを使って飲む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回食に移行。食品数、種類を増やしていく</li> <li>・持って食べられる環境にしていく</li> <li>・ミルクを飲むときに自分の手で持てるように手を添える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミルクをたっぷり飲む</li> <li>・一定量しっかり飲む</li> <li>・ミルクのあとのげっぷは必ず出させる</li> </ul>
<b>排泄</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の節目におまるに座る</li> <li>・おまるを見せて子どもと一緒に確認していく</li> <li>・日中はパンツで過ごす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠中はオムツにするが、様子を見ながらパンツにして、排泄の間隔を見ていく</li> <li>・オマルに座る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ交換の際は、豊かな表情で接し、優しく声を掛けてスキンシップをする</li> </ul>
<b>睡眠</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回睡眠のリズムを整える</li> <li>・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前、午後とも眠れるようにする</li> </ul>
<b>身辺自立</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉掛けをしながら、着脱を進める</li> <li>・声を掛けながら少しづつ手を添わせていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉掛けをしながら、着脱を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめにオムツを換え気持ちよさを知らせる</li> </ul>
<b>言語認識</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マンマンマン、ナンナンナン、ダダダダ」など切れ目のない喃語を発する</li> <li>・指さしを始め、自分の意志や要求を伝えようとする</li> <li>・簡単な言葉を理解し言葉と動作の結びつきが分かりだす</li> <li>・相手のしていることに興味を示し自分もしようとする</li> <li>・他の子どもが持っているものに手を出したり、相手に物を渡す</li> <li>・自分の名前を呼ばれるとわかる</li> <li>・ちょうだい、どうぞの遊びが出来る</li> <li>・物の出し入れを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アー、アウ、ブー、オッ」などの声を発する</li> <li>・自分から呼びかけるような声を出す</li> <li>・保育士の歌や動作を喜んで見たり聞いたりする</li> <li>・視覚、聴覚、手の協応が十分に出来る（見つけたもの取る、持ちかえる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやされると「ウグウグ」など声を出す</li> <li>・「アーウー」の声が出る</li> <li>・「キャッキャッ」とはしゃぐ</li> <li>・上下の追視が出来る</li> <li>・無垢なまなざしでじっと見る</li> </ul>
<b>運動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイハイ、坐位、つかまり立ち、伝い歩きと姿勢を自由に切り替えられる</li> <li>・深さ、距離、高さを知り始め、見通しが解りはじめる</li> <li>・箱などを押して歩いたり、高這いで目標に向かって進む</li> <li>・階段を四つ這い、高這いで昇り降りすることができ</li> <li>・障害物を乗り越えて、好きな人や物のところへ近づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い場所でのハイハイを保障する</li> <li>・大人が身体を使った揺さぶり遊びをしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹這いの時間を徐々に延ばす(姿勢を変えてあげる)</li> <li>・左右に寝返りできるように働きかける</li> </ul>
<b>手指探索</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手に物を持って、正面で打ち合わせる</li> <li>・小さい物を、親指と人差し指でつまむ</li> <li>・容器に物を入れる、かぶせる、乗せる、合わせるなどできる</li> <li>・鉛筆やペンを逆に持って打ち付けたり、左右の往復運動をして殴り書きができるようになる</li> <li>・左右それぞれの手で2つの物を持てた上で、他者に渡せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に前にオモチャを置き、触ったり見たりできるようにする</li> <li>・オモチャを媒介にしてあやし遊ぶ</li> <li>・容器から出せるようになる</li> <li>・小さい物を指先でつまめるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に前にオモチャを置き、触ったり見たりできるようにする</li> <li>・オモチャに手を伸ばしつかむ</li> <li>・振ったら音が出るようなおもちゃを持たせる</li> </ul>
<b>絵本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の時間を、大人も子どもも楽しむ</li> <li>・絵本に興味を持ち、指差したり、真似したり、集中してみる(聞く力、言葉の獲得)</li> </ul>		
<b>描画造形</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材で描くことを楽しむ</li> <li>・季節にあった製作をする（ぶどう、コスモス）</li> </ul>		
<b>音楽</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の歌を楽しむ</li> <li>・赤ちゃん体操や動きに合わせて歌ったり、柔らかい声で静かに歌う</li> <li>・子守唄、わらべうたも歌っていく</li> </ul>		
<b>人間関係</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりをつないでいけるようにしていく</li> <li>・色んな場所、人との関わりを意識的に広げていく</li> <li>・相手だけでなく、相手のしていることにも興味を示し模倣する</li> </ul>		
<b>健康</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動を保障し、安全に気を配る</li> <li>・赤ちゃん体操をする</li> <li>・外気浴</li> <li>・誤飲に注意する（直径3.5cm以下の物は置かない）</li> <li>・環境整備</li> <li>・病気の時（発熱、下痢、嘔吐）の対応情報を伝える</li> <li>・おもちゃや日用品の洗浄</li> </ul>		